



設定 Astra Automation

NetApp
September 02, 2026

目次

設定	1
Astra API (ACC) エンドポイントの設定	1
すべての設定を一覧表示	1
パラメータ	1
応答	3
応答	5
応答	5
応答	6
応答	6
エラー	7
用語の意味	7
設定を取得する	12
パラメータ	12
応答	12
応答	16
応答	17
応答	17
応答	18
エラー	18
用語の意味	19
設定を変更する	20
パラメータ	21
要求の本文	21
応答	24
応答	24
応答	25
応答	25
応答	26
応答	27
エラー	27
用語の意味	28

設定

Astra API（ACC）エンドポイントの設定

アカウント設定は、Astraアカウントの既知の機能にとって重要なキー/値ペアの集合です。設定APIは、アカウント設定に関する重要な情報へのアクセスを提供します。

すべての設定を一覧表示

GET /accounts/{account_id}/core/v1/settings

コレクション内の一致するすべてのリソースのJSON配列を返します。リクエストで個別のフィールドが指定されている場合、アイテムのJSON配列には、一致する各リソースに対して要求されたフィールドが、指定された順序で含まれます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path（パス）	True	包含するアカウントリソースのID • 例：{{.Account}}
含める	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、どのフィールドを返すかを指定します。 URLの例 ： "include=id"、 "include=id,name" OpenAPI の例： "id"
制限（Limit）	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に返されるリソースの最大数を示します。 URLの例： "limit=2" OpenAPI の例： "2"

Name	を入力します	入力	必須	説明
フィルタ	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、リソースを返すためにどのフィールドを一致させる必要があるかを示します。 サポートされているオペレータは次のとおりです： • eq - 等号 • lt/gt - より小さい/より大きい • lte/gte - 以下/以上 URLの例 ： "filter=field%20eq%20%27value%27" OpenAPI の例 ： 「field eq 'value'」
カウント	string	query	False	メタデータオブジェクトで返されるリソースの総数。 URLの例 ： "count=true" OpenAPI の例 ： "true"
OrderBy	string	query	False	コレクションを一覧表示する際の、リソースの並び順を示します。 URLの例 ： "orderBy=name"、"orderBy=name%20desc" OpenAPI の例 ： "name desc"

Name	を入力します	入力	必須	説明
スキップします	string	query	False	コレクションを一覧表示する際にスキップするリソースの数を指定します。 URLの例：「skip=1」 OpenAPI の例："1"

応答

Status: 200, Returns a JSON array of all matching resources in the collection. If individual fields are specified in the request, the items JSON array will contain the fields requested for each matching resource in the order specified.

Name	を入力します	必須	説明
項目	配列[いずれか : "setting_1.1_get_response_body"、配列[]]	True	
メタデータ	"type_astra_metadata_list"	True	

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-settings",
  "version": "1.1",
  "items": [
    {
      "type": "application/astra-setting",
      "version": "1.0",
      "id": "5da0a2ed-c51d-4d91-8b98-ed3aa8a88cc5",
      "name": "astra.account.smtp",
      "currentConfig": {
        "credential": "",
        "isEnabled": "false",
        "port": 587,
        "relayServer": "smtp.sendgrid.net"
      },
      "configSchema": {
        "$schema": "http://json-schema.org/draft-07/schema#",
        "title": "astra.account.smtp",

```

```

    "type": "object",
    "properties": {
      "credential": {
        "type": "string",
        "description": "The credential ID for SMTP authentication."
      },
      "isEnabled": {
        "type": "string",
        "description": "This property determines if this setting is
enabled or not."
      },
      "port": {
        "type": "integer",
        "description": "The SMTP port. For an unencrypted or a TLS
connection, use port 25, 2525, or 587."
      },
      "relayServer": {
        "type": "string",
        "description": "This setting is sometimes referred to as the
external SMTP server or the SMTP relay."
      }
    },
    "additionalProperties": false,
    "required": [
      "relayServer",
      "port",
      "isEnabled"
    ]
  },
  "state": "valid",
  "stateUnready": [],
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2021-06-04T20:14:52Z",
    "modificationTimestamp": "2021-06-04T20:14:52Z",
    "createdBy": "c9550bbb-e70b-4578-8504-07397f875bcb",
    "modifiedBy": "65e1571b-1b46-4f05-95b0-7d7f5a93da6a"
  }
},
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}

```

```
}
```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
```

```
"title": "Invalid query parameters",
"detail": "The supplied query parameters are invalid.",
"status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

応答

Status: 503, Service unavailable

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
```

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/41",
  "title": "Service not ready",
  "detail": "Currently, the service can't respond to this request.",
  "status": "503"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

type_json

この設定の現在の構成を構成するキーと値を含むJSONオブジェクト。このオブジェクトの内容は、configSchemaフィールドに含まれるJSONスキーマに準拠する必要があります。デフォルト値はconfigmapによって提供されます。ユーザーがデフォルト設定を変更した後は、その設定は上書きされません。

type_json

この設定に必要な構成を構成するキーと値を含むJSONオブジェクト。このオブジェクトの内容は、configSchemaフィールドに含まれるJSONスキーマに準拠する必要があります。オブジェクトは指定されるまで存在しません。指定すると、機能サービスが対応するサービスに通知し、目的の構成を適用できるように要求します。対応するサービスは、検証を実行し、目的の構成を現在の構成に適用できます。

プロパティ

type_json_schema

このリソース内のconfigプロパティのJSONスキーマを含むJSONオブジェクト。JSONスキーマドラフト7に準拠する必要があります。リソースに設定値が存在する場合、指定されたconfigSchemaに対する検証は必須です。一般的な慣例として、構成には必要に応じて「isEnabled」フィールドを含めることが推奨されます。「isEnabled」フィールドには、設定がオン（「true」）かオフ（「false」）かを示す値が含まれています。

Name	を入力します	必須	説明
\$schema	string	True	
を入力します	string	True	
プロパティ	"プロパティ"	True	
additionalProperties	ブーリアン	True	
必須	array[string]	True	

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更されずに保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

setting_1.1_get_response_body

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-setting"

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
名前	string	True	階層ドット表記 (.) で記述された設定名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバーサル攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。この値は実行時にロードされるconfigmapによって指定され、ユーザーが更新することはできません。
currentConfig	"type_json"	True	この設定の現在の構成を構成するキーと値を含むJSONオブジェクト。このオブジェクトの内容は、configSchemaフィールドに含まれるJSONスキーマに準拠する必要があります。デフォルト値はconfigmapによって提供されます。ユーザーがデフォルト設定を変更した後は、その設定は上書きされません。

Name	を入力します	必須	説明
desiredConfig	"type_json"	False	この設定に必要な構成を構成するキーと値を含むJSONオブジェクト。このオブジェクトの内容は、configSchemaフィールドに含まれるJSONスキーマに準拠する必要があります。オブジェクトは指定されるまで存在しません。指定すると、機能サービスが対応するサービスに通知し、目的の構成を適用できるように要求します。対応するサービスは、検証を実行し、目的の構成を現在の構成に適用できます。
configSchema	"type_json_schema"	True	このリソース内のconfigプロパティのJSONスキーマを含むJSONオブジェクト。JSONスキーマドラフト7に準拠する必要があります。リソースに設定値が存在する場合、指定されたconfigSchemaに対する検証は必須です。一般的な慣例として、構成には必要に応じて「isEnabled」フィールドを含めることが推奨されます。「isEnabled」フィールドには、設定がオン（「true」）かオフ（「false」）かを示す値が含まれています。

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	アプリケーションの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「valid」 - 現在の設定は、希望する設定と一致しています。 「pending」 - 目的の設定が適用されています。 「error」 - 目的の設定を適用できません。
stateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、設定が正常に適用されなかった理由を示しています。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：127
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更されずに保持されます。

type_astra_metadata_list

Name	を入力します	必須	説明
続行	string	False	
カウント	番号	False	
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	

Name	を入力します	必須	説明
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

設定を取得する

GET /accounts/{account_id}/core/v1/settings/{setting_id}

JSONレスポンスボディに格納されているSetting APIリソースを返します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
setting_id	string	path (パス)	True	リストする設定コレクションのID

応答

Status: 200, Returns the stored Setting API resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです: • "application/astra-setting"

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
名前	string	True	階層ドット表記 (.) で記述された設定名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバース攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。この値は実行時にロードされるconfigmapによって指定され、ユーザーが更新することはできません。
currentConfig	"type_json"	True	この設定の現在の構成を構成するキーと値を含むJSONオブジェクト。このオブジェクトの内容は、configSchemaフィールドに含まれるJSONスキーマに準拠する必要があります。デフォルト値はconfigmapによって提供されます。ユーザーがデフォルト設定を変更した後は、その設定は上書きされません。

Name	を入力します	必須	説明
desiredConfig	"type_json"	False	この設定に必要な構成を構成するキーと値を含むJSONオブジェクト。このオブジェクトの内容は、configSchemaフィールドに含まれるJSONスキーマに準拠する必要があります。オブジェクトは指定されるまで存在しません。指定すると、機能サービスが対応するサービスに通知し、目的の構成を適用できるように要求します。対応するサービスは、検証を実行し、目的の構成を現在の構成に適用できます。
configSchema	"type_json_schema"	True	このリソース内のconfigプロパティのJSONスキーマを含むJSONオブジェクト。JSONスキーマドラフト7に準拠する必要があります。リソースに設定値が存在する場合、指定されたconfigSchemaに対する検証は必須です。一般的な慣例として、構成には必要に応じ て「isEnabled」フィールドを含めることが推奨されます。「isEnabled」フィールドには、設定がオン（「true」）かオフ（「false」）かを示す値が含まれています。
状態	string	True	アプリケーションの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「valid」 - 現在の設定は、希望する設定と一致しています。 「pending」 - 目的の設定が適用されています。 「error」 - 目的の設定を適用できません。

Name	を入力します	必須	説明
stateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、設定が正常に適用されなかった理由を示しています。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更されずに保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-setting",
  "version": "1.1",
  "id": "ea510866-47d3-5130-8468-563df4cd6a28",
  "name": "astra.account.smtp",
  "currentConfig": {
    "credential": "",
    "isEnabled": "false",
    "port": 587,
    "relayServer": "smtp.sendgrid.net"
  },
  "configSchema": {
    "$schema": "http://json-schema.org/draft-07/schema#",
    "title": "astra.account.smtp",
    "type": "object",
    "properties": {
      "credential": {
        "type": "string",
        "description": "The credential ID for SMTP authentication."
      }
    }
  }
}
```

```

    },
    "isEnabled": {
      "type": "string",
      "description": "This property determines if this setting is
enabled or not."
    },
    "port": {
      "type": "integer",
      "description": "The SMTP port. For an unencrypted or a TLS
connection, use port 25, 2525, or 587."
    },
    "relayServer": {
      "type": "string",
      "description": "This setting is sometimes referred to as the
external SMTP server or the SMTP relay."
    }
  },
  "additionalProperties": false,
  "required": [
    "relayServer",
    "port",
    "isEnabled"
  ]
},
"state": "valid",
"stateUnready": [],
"metadata": {
  "labels": [],
  "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
}
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

応答

Status: 503, Service unavailable

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/41",
  "title": "Service not ready",
  "detail": "Currently, the service can't respond to this request.",
  "status": "503"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

type_json

この設定の現在の構成を構成するキーと値を含むJSONオブジェクト。このオブジェクトの内容は、configSchemaフィールドに含まれるJSONスキーマに準拠する必要があります。デフォルト値はconfigmapによって提供されます。ユーザーがデフォルト設定を変更した後は、その設定は上書きされません。

type_json

この設定に必要な構成を構成するキーと値を含むJSONオブジェクト。このオブジェクトの内容は、configSchemaフィールドに含まれるJSONスキーマに準拠する必要があります。オブジェクトは指定されるまで存在しません。指定すると、機能サービスが対応するサービスに通知し、目的の構成を適用できるように要求します。対応するサービスは、検証を実行し、目的の構成を現在の構成に適用できます。

プロパティ

type_json_schema

このリソース内のconfigプロパティのJSONスキーマを含むJSONオブジェクト。JSONスキーマドラフト7に準拠する必要があります。リソースに設定値が存在する場合、指定されたconfigSchemaに対する検証は必須です。一般的な慣例として、構成には必要に応じて「isEnabled」フィールドを含めることが推奨されます。「isEnabled」フィールドには、設定がオン（「true」）かオフ（「false」）かを示す値が含まれています。

Name	を入力します	必須	説明
\$schema	string	True	
を入力します	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
プロパティ	"プロパティ"	True	
additionalProperties	ブーリアン	True	
必須	array[string]	True	

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更されずに保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

設定を変更する

PUT /accounts/{account_id}/core/v1/settings/{setting_id}

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
setting_id	string	path (パス)	True	リストする設定コレクションのID

要求の本文

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • "application/astra-setting"
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1"
ID	string	False	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	False	階層ドット表記 (.) で記述された設定名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63 • この文字列は、XSS攻撃、Unicode攻撃、ディレクトリトラバーサル攻撃、SQLインジェクション攻撃を防ぐために内部的に検証されます。この値は実行時にロードされるconfigmapによって指定され、ユーザーが更新することはできません。
currentConfig	"type_json"	False	この設定の現在の構成を構成するキーと値を含むJSONオブジェクト。このオブジェクトの内容は、configSchemaフィールドに含まれるJSONスキーマに準拠する必要があります。デフォルト値はconfigmapによって提供されます。ユーザーがデフォルト設定を変更した後は、その設定は上書きされません。
desiredConfig	"type_json"	False	この設定に必要な構成を構成するキーと値を含むJSONオブジェクト。このオブジェクトの内容は、configSchemaフィールドに含まれるJSONスキーマに準拠する必要があります。オブジェクトは指定されるまで存在しません。指定すると、機能サービスが対応するサービスに通知し、目的の構成を適用できるように要求します。対応するサービスは、検証を実行し、目的の構成を現在の構成に適用できます。

Name	を入力します	必須	説明
configSchema	"type_json_schema"	False	このリソース内のconfigプロパティのJSONスキーマを含むJSONオブジェクト。JSONスキーマドラフト7に準拠する必要があります。リソースに設定値が存在する場合、指定されたconfigSchemaに対する検証は必須です。一般的な慣例として、構成には必要に応じて「isEnabled」フィールドを含めることが推奨されます。「isEnabled」フィールドには、設定がオン（「true」）かオフ（「false」）かを示す値が含まれています。
状態	string	False	アプリケーションの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「valid」 - 現在の設定は、希望する設定と一致しています。 「pending」 - 目的の設定が適用されています。 「error」 - 目的の設定を適用できません。
stateUnready	array[string]	False	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、設定が正常に適用されなかった理由を示しています。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更されずに保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-setting",
  "version": "1.1",
  "desiredConfig": {
    "credential": "e3d2ea77-398e-49be-85fd-ec66d9426a06",
    "port": 587,
    "relayServer": "smtp.sendgrid.net",
    "isEnabled": "true"
  }
}
```

応答

Status: 204, Indicates if the setting resource was updated.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

応答

Status: 503, Service unavailable

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/41",
  "title": "Service not ready",
  "detail": "Currently, the service can't respond to this request.",
  "status": "503"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

type_json

この設定の現在の構成を構成するキーと値を含むJSONオブジェクト。このオブジェクトの内容は、configSchemaフィールドに含まれるJSONスキーマに準拠する必要があります。デフォルト値はconfigmapによって提供されます。ユーザーがデフォルト設定を変更した後は、その設定は上書きされません。

type_json

この設定に必要な構成を構成するキーと値を含むJSONオブジェクト。このオブジェクトの内容は、configSchemaフィールドに含まれるJSONスキーマに準拠する必要があります。オブジェクトは指定されるまで存在しません。指定すると、機能サービスが対応するサービスに通知し、目的の構成を適用できるように要求します。対応するサービスは、検証を実行し、目的の構成を現在の構成に適用できます。

プロパティ

type_json_schema

このリソース内のconfigプロパティのJSONスキーマを含むJSONオブジェクト。JSONスキーマドラフト7に準拠する必要があります。リソースに設定値が存在する場合、指定されたconfigSchemaに対する検証は必須です。一般的な慣例として、構成には必要に応じて「isEnabled」フィールドを含めることが推奨されます。「isEnabled」フィールドには、設定がオン（「true」）かオフ（「false」）かを示す値が含まれています。

Name	を入力します	必須	説明
\$schema	string	True	
を入力します	string	True	
プロパティ	"プロパティ"	True	
additionalProperties	ブーリアン	True	
必須	array[string]	True	

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更されずに保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列[" type_astra_label "]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。